

令和6年3月4日
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー
エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社

復興庁「浜通り復興リビングラボ」実証事業におけるシンポジウムにて 事業進捗報告およびパネルディスカッションに参加しました。

株式会社オリエンタルコンサルタンツ(代表取締役社長：野崎秀則)、株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー(代表取締役社長：星野理彰)およびエヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社(代表取締役社長：上原一郎)は、共同(以下、「当コンソーシアム」と略記)で、令和5年9月、復興庁の「浜通り復興リビングラボ 実証事業^(※)」公募に応募し、採択を受けました。

同月、浜通り地域等の15市町村とのマッチング会議(主催：復興庁)等を通じて、富岡町および浪江町を対象とすることが決定し、「DXを活用した行政・住民サービス事業の実証」をテーマとして同地区を対象に次の取組みを行っています。

- ①富岡町、浪江町の一部地区を対象に、3D都市モデルおよびデータ連携基盤(デジタルプラットフォーム)を構築
- ②インフラ管理や駅周辺街づくり、地域防災等をユースケースとして、活用方法等を検証
^(※)「浜通り復興リビングラボ」とは、生活の場を実験場としてイノベーションを実践するプログラムであり、このリビングラボを通じて、生活環境向上のための官民パートナーシップが浜通りに形成されることを期待する復興庁の取り組みです。

令和6年2月28日には、富岡町にて「浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～ シンポジウム」(主催：復興庁)が開催されました。

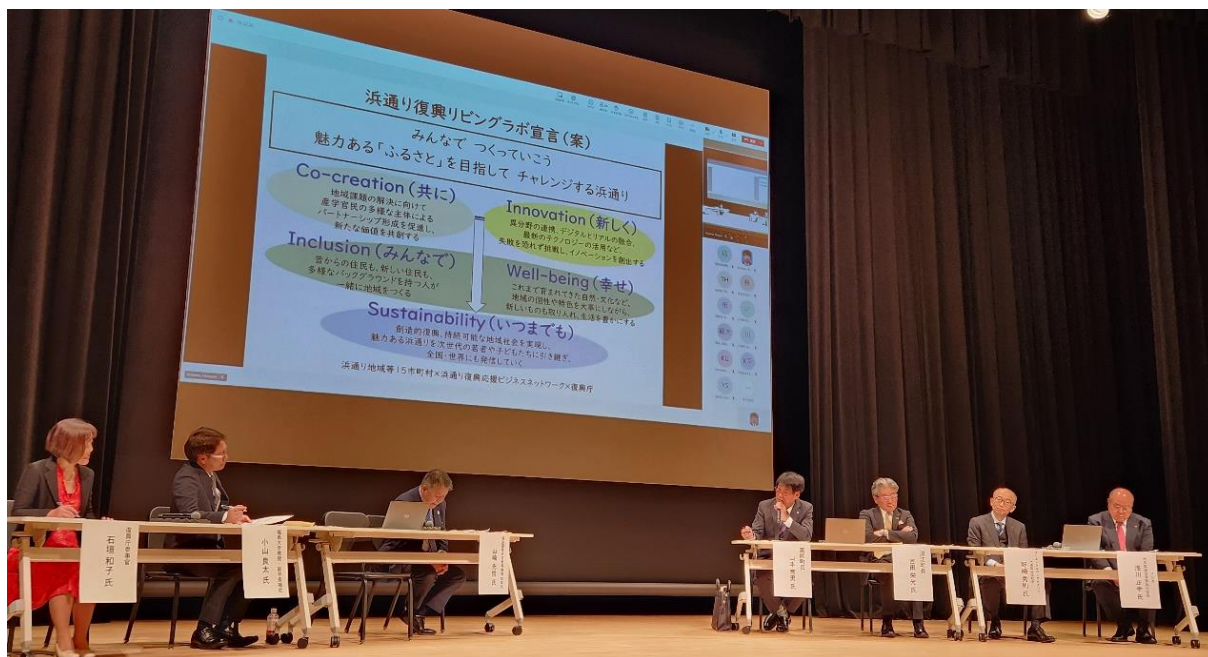
【シンポジウム概要】

- ・日時：令和6年2月28日(水)13時30分～17時00分
- ・会場：富岡町文化交流センター学びの森 大ホール
- ・主催：復興庁

シンポジウムでは、冒頭にて平木大作復興副大臣より開会のご挨拶を頂くとともに、復興庁原子力災害復興班の石垣和子参事官より「浜通り復興リビングラボ」の今後に向けたスピーチが行われました。

その後の「実証事業の進捗状況報告」において、当コンソーシアムの代表企業として、オリエンタルコンサルタンツの地方創生事業部長の志田山智弘より、現時点の進捗報告および今後の展開について報告を行いました。また、ハイレベル・セッション「浜通り地域等におけるリビングラボの方向性」と題したパネルディスカッションでは、福島大学の小山良太副学長補佐・食農学類教授をモデレーターとし、山本育男富岡町長、吉田栄光浪江町長、オリエンタルコンサルタンツの代表取締役社長の野崎秀則を含む5名のパネリストにて、「浜通り復興リビングラボ」に対する思いや今後の期待について活発な議論が行われ、市町村の広域連携の重要性等が確認されました。また、復興庁による「浜通り復興リビングラボ宣言案」に対して、パネリストからの賛同の声が寄せられました。

【パネルディスカッションの様子】



左から

- 石垣 和子 復興庁 原子力災害復興班 参事官 (まちづくり担当)
- 小山 良太 福島大学 副学長補佐、食農学類 教授 (モデレーター)
- 山崎 光悦 福島国際研究教育機構 理事長
- 山本 育男 福島県富岡町 町長
- 吉田 栄光 福島県浪江町 町長
- 野崎 秀則 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 代表取締役社長
- 浅川 正幸 株式会社フジタ 代表取締役専務執行役員



【集合写真】

